

日本外交文書

平和条約の締結に関する調書
第三冊 (VI)

外務省

序

外務省では、明治維新以降のわが国外交の経緯を明らかにし、あわせて外交交渉上の先例ともなりうる基本的史料を提供する目的で、昭和11年『日本外交文書』第1巻を公刊した。その後、既に、明治・大正期および昭和期Ⅰの刊行を終え、現在昭和期Ⅱ（昭和6～12年）を鋭意刊行中であり、通算187冊を刊行済みである。一方、近年内外の研究者の間で昭和戦後期に関する研究が進み、同時期に対する関心も高まってきている。そこで『日本外交文書』シリーズとしても戦後期の編纂・刊行に着手することとし、この度、対日平和条約発効50年を機に「平和条約の締結に関する調書」をまず復刻・刊行することとした。

「平和条約の締結に関する調書」は、同条約の準備作業およびその締結に至る交渉経緯を、当時第一線で衝に当たった西村熊雄元条約局長がまとめたものであり、わが国戦後外交史を研究する上で第一級の史料であると考えられる。

激動の時代といわれる昭和期を顧みるにあたって、本書が正確な史実を提供し、外交問題の歴史的研究に資するとともに、現在の国際関係を考察する上でも貢献できれば幸いである。

平成14年3月

外務省外交史料館長

例 言

1. 本書は、「平和条約の締結に関する調書」VI（上・下、昭和26年5月～8月、サン・フランシスコ平和会議直前までの経緯）を収録し、『日本外交文書 平和条約の締結に関する調書』第三冊として復刻・刊行するものである。
2. 収録にあたっては、原本のままとした。
3. (1) ただし収録にあたっては通しページを付した。
(2) 本文中の付録番号の誤記および付録資料中の付属文書の掲載漏れについては（編注）のルビを当該箇所に付し、その注の内容を本書末尾に記載した。
(3) 付録目次のページ表記の誤記については当該箇所にルビを付して訂正した。
(4) 付録69第5文書は、付録72第9文書の一部が掲載されているため、本来の文書を（編注9）として本書末尾に収録した。

目 次

平和条約の締結に関する調書 VI	3
昭和26年5月～8月	
Ⅰ 第2次交渉の後	11
Ⅱ 第3次交渉—平和条約案公表まで—	57
Ⅲ 第3次交渉の後	150
付 録	241
参考資料	841